

# 応援のチカラ

市長 米本 弥一郎



2月2日に行われた第36回旭市飯岡しおさいマラソン大会。今回は2年ぶりに、私もランナーとして5kmの部に出場しました。

「よねもとしちようさーん、がんばって」というかわいい声援や、優しい笑顔で「市長、ここからが本番でしょう」という声援が、沿道から次々と聞こえてきます。私も、折り返して復路を走ってくるランナーに「頑張れ」「負けるな」と大きな声でエールを送り、周りに居たランナーと互いに励まし合いながら、自分の気力を確認し、気持ちを奮い立たせました。

レース後半には、一歩進むごとにいいおか潮騒ホテル前でのお囃子はやしの音が大きくなり、しおさいスタジアムにあるゴールが確実に近づいていくことを実感し、力が湧いてきました。しおさいスタジアムに向かって

県道を左折すると、道は緩やかな上り坂。「最後に心臓破りの坂か」と思いましたが、そこでも多くの人に励まされ、上り切ることができました。そして、大声援に迎えられながらゴールした瞬間、ホッとした気持ちと、走り切ったという満足感でいっぱいになりました。

練習不足を自覚していたので「ただひたすら腕を振り、足を前に出し続けよう」と決意しながらも、不安の中でのレースでした。無事にゴールできたのは、何より皆さまの温かい応援があったからこそです。この応援がランナーの支えとなり、大会を盛り上げる大きな力になったと感じています。

悪天候にもかかわらず、2千人を超えるランナーをもてなし、支えてくださった全ての皆さまに、心から敬意と感謝を申し上げます。